



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月12日

東・福

上場会社名 イフジ産業株式会社

上場取引所

コード番号 2924

URL <https://ifuji.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤井 宗徳

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 原 敬

(TEL) 092-938-4561

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績 (2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	18,394	△5.7	2,388	45.7	2,434	45.0	1,652	12.5
2024年3月期第3四半期	19,506	33.4	1,639	45.7	1,679	45.2	1,469	84.2

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 1,649百万円(10.4%) 2024年3月期第3四半期 1,494百万円(86.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	199.70	—
2024年3月期第3四半期	177.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	17,355	10,972	63.2
2024年3月期	14,636	9,693	66.2

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 10,972百万円 2024年3月期 9,693百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	26.00	—	22.00	48.00
2025年3月期	—	26.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	27.00	53.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,651	0.6	2,568	45.5	2,562	41.6	1,722	7.8	208.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1社(社名) HORIZON FARMS株式会社、除外 — 社(社名) —

2024年7月にHORIZON FARMS株式会社の全株式を取得したことに伴い、中間連結会計期間よりHORIZON FARMS株式会社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	8,345,370株	2024年3月期	8,345,370株
2025年3月期3Q	63,951株	2024年3月期	82,801株
2025年3月期3Q	8,273,668株	2024年3月期3Q	8,254,833株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(収益認識関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業が賃上げに努めてはいるものの、円安やインフレによる物価の上昇や、税金・社会保険料の増加等による可処分所得、いわゆる手取りの減少、また人口減とそれに伴う労働力不足等により、景気の先行きには注視が必要な状況にあります。

食品業界におきましては、円安や人件費高騰の影響等により原材料価格や製商品価格の値上げが続いております。

鶏卵業界では、2022年から2023年にかけての鳥インフルエンザ多発に伴う鶏卵不足による食品メーカーにおける鶏卵使用量の減少の継続、2024年の夏の猛暑による鶏卵生産量の減少や生産コストの上昇、また鶏卵の増産を促す畜産クラスター事業や抑制を促す成鶏更新・空舎延長事業等の政府の補助金政策に加え、2024年の秋以降新たに鳥インフルエンザが多発しており、鶏卵市場の先行きに不透明感が増してきております。

このような状況の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結売上高につきましては、液卵事業において販売数量が前年同期比13.7%増と増加し、当該期間として過去最高の販売数量になった一方で、鶏卵相場が低下したことに伴い販売単価が低下したため、前年同期比5.7%減の18,394百万円となりました。

損益につきましては、液卵事業において鶏卵相場の低下により原料仕入単価が低下したこと等により、連結営業利益は同45.7%増の2,388百万円、連結経常利益は同45.0%増の2,434百万円となり、いずれも第3四半期連結累計期間において7期連続の増益となり、当該期間として最高益を更新いたしました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、同12.5%増の1,652百万円となり2期連続の増益で、当該期間として最高益を更新いたしました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、2024年7月にHORIZON FARMS株式会社の全株式を取得したことに伴い、中間連結会計期間より当社グループ内の業績管理区分を一部見直し、報告セグメントを従来の「液卵関連事業」、「調味料関連事業」及び「その他」から、「液卵事業」、「調味料事業」及び「オーガニックEC事業」に変更するとともに、従来「その他」に含めていた「太陽光発電事業」について、セグメントとして識別する意義が乏しくなったため、「液卵事業」及び「調味料事業」に分割して計上する変更を行っております。なお、前年同期比較については、前第3四半期連結累計期間の数値を新たな報告セグメントに組み替えて算出し比較しております。

①液卵事業

当セグメントにおける主要な関係会社は、イフジ産業株式会社であります。

当セグメントにおきましては、鶏卵相場に連動する商品が多いため、売上高及び仕入高が鶏卵相場に連動する傾向にあります。そのため、販売単価と仕入単価の差益を一定額以上確保すること及び販売数量を確保することにより利益が最大になるように努めております。

当セグメントにおける売上の指標である販売数量につきましては、前年同期比13.7%増となり当該期間において過去最高となりました。これは主に、鳥インフルエンザの影響に伴い減少していた製パンメーカー向けや菓子メーカー向けの液卵販売数量が増加したことや、液卵の供給不足時に当社が安定供給に尽力したことが評価され当社の液卵販売数量が増加したこと、また新規顧客との取引が増加したこと等によるものであります。

売上高につきましては、販売数量は増加したものの、鶏卵相場（全農東京Mサイズ基準値）が前年同期比21.5%減（74円/kg減）と低下したことに伴い、連動する液卵の販売単価も低下しました。その結果、液卵売上高は前年同期比9.6%減の15,873百万円となりました。また、加工品売上高は、ゆで卵や茶碗蒸しベースの販売価格の改定や付加価値の高い新商品の販売増加等により同29.5%増の967百万円、その他売上高は鶏卵販売の減少等により同30.2%減の196百万円となりました。この結果、当セグメント合計の売上高は同8.4%減の17,037百万円となりました。

セグメント利益につきましては、製品在庫の増加に伴う保管料の増加や販売数量増に伴う運賃の増加等があったものの、鶏卵相場に連動して原料仕入単価が低下したこと等により、同47.4%増の2,335百万円となりました。

②調味料事業

当セグメントにおける主要な関係会社は、日本化工食品株式会社であります。

当セグメントの売上高につきましては、当社グループ内での委託加工販売が減少したこと等により、前年同期比13.9%減の979百万円となりました。

セグメント利益につきましては、販売価格の改定を進めたことや健康食品等の高付加価値商品向けの販売が増加したこと、また、製販一体による経営の効率化を図るため、本社機能を千葉工場に統合したことに伴う地代家賃の減少等により同27.9%増の69百万円となりました。

③オーガニックEC事業

当セグメントにおける主要な関係会社は、HORIZON FARMS株式会社であります。

当セグメントの売上高につきましては、ブルーベリーやアサイーピューレ、牛骨スープパウダーの販売が好調だったこと等により430百万円となり、セグメント利益につきましては、のれんの償却額31百万円の計上等により24百万円となりました。なお、当セグメントにつきましては、中間連結会計期間から計上しているため前年同期比較は行っておらず、また2024年7月から12月の6か月間の数値であります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は17,355百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,718百万円増加しました。

流動資産は11,343百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,913百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金の増加1,260百万円、受取手形及び売掛金の増加1,043百万円、商品及び製品の減少558百万円等によるものであります。

固定資産は6,011百万円となり、前連結会計年度末に比べ804百万円増加しました。主な要因は、HORIZON FARMS株式会社の全株式取得に伴うのれんの増加472百万円、機械装置及び運搬具の増加365百万円等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は6,382百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,439百万円増加しました。

流動負債は5,312百万円となり、前連結会計年度末に比べ786百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加764百万円、未払法人税等の増加243百万円、短期借入金の減少642百万円等によるものであります。

固定負債は1,069百万円となり、前連結会計年度末に比べ652百万円増加しました。主な要因は、長期借入金の増加604百万円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は10,972百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,278百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益1,652百万円の計上等により利益剰余金が1,255百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は63.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期業績予想につきましては、業績は概ね順調に推移しており、2024年11月5日に公表した業績予想から変更はしておりません。

なお、足元の状況として鳥インフルエンザが多発しており、鶏卵相場や需給の動向が不透明であるため、今後開示すべき事項が発生した場合は速やかにお知らせいたします。

業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,150	4,410
受取手形及び売掛金	3,399	4,443
商品及び製品	2,263	1,704
仕掛品	52	136
原材料及び貯蔵品	436	548
その他	138	111
貸倒引当金	△11	△10
流動資産合計	9,429	11,343
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,786	1,805
機械装置及び運搬具(純額)	1,009	1,375
土地	1,857	1,857
リース資産(純額)	5	4
その他(純額)	163	200
有形固定資産合計	4,821	5,242
無形固定資産		
のれん	—	472
その他	5	8
無形固定資産合計	5	480
投資その他の資産		
投資有価証券	181	182
繰延税金資産	182	89
その他	17	17
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	380	288
固定資産合計	5,207	6,011
資産合計	14,636	17,355
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,091	1,855
短期借入金	2,197	1,554
1年内償還予定の社債	—	16
リース債務	1	1
未払法人税等	214	458
賞与引当金	193	142
その他	828	1,284
流動負債合計	4,525	5,312
固定負債		
社債	—	48
長期借入金	329	934
リース債務	4	3
その他	83	84
固定負債合計	417	1,069
負債合計	4,943	6,382
純資産の部		
株主資本		
資本金	455	455
資本剰余金	400	414
利益剰余金	8,817	10,072
自己株式	△53	△41
株主資本合計	9,619	10,901
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	73	71
その他の包括利益累計額合計	73	71
純資産合計	9,693	10,972
負債純資産合計	14,636	17,355

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	19,506	18,394
売上原価	16,092	13,748
売上総利益	3,414	4,645
販売費及び一般管理費	1,774	2,257
営業利益	1,639	2,388
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2	3
受取保険金	9	15
受取賃貸料	16	13
その他	18	27
営業外収益合計	47	60
営業外費用		
支払利息	7	13
営業外費用合計	7	13
経常利益	1,679	2,434
特別利益		
収用補償金	207	—
特別利益合計	207	—
特別損失		
固定資産除売却損	0	19
特別損失合計	0	19
税金等調整前四半期純利益	1,886	2,415
法人税、住民税及び事業税	346	669
法人税等調整額	71	93
法人税等合計	417	762
四半期純利益	1,469	1,652
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,469	1,652

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,469	1,652
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25	△2
その他の包括利益合計	25	△2
四半期包括利益	1,494	1,649
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,494	1,649
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	液卵事業	調味料事業	オーガニック EC事業			
売上高						
外部顧客への売上高	18,591	915	—	19,506	—	19,506
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	222	—	222	△222	—
計	18,591	1,138	—	19,729	△222	19,506
セグメント利益	1,584	54	—	1,639	—	1,639

(注) セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1、2	四半期連結 損益計算書 計上額
	液卵事業	調味料事業	オーガニック EC事業			
売上高						
外部顧客への売上高	17,037	926	430	18,394	—	18,394
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	53	—	53	△53	—
計	17,037	979	430	18,447	△53	18,394
セグメント利益	2,335	69	24	2,429	△41	2,388

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益の調整額△41百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△41百万円が含まれております。全社費用は、子会社株式の取得関連費用であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

2024年7月にHORIZON FARMS株式会社の株を取得したことに伴い、中間連結会計期間より当社グループ内の業績管理区分を一部見直し、報告セグメントを従来の「液卵関連事業」、「調味料関連事業」及び「その他」から、「液卵事業」、「調味料事業」及び「オーガニックEC事業」に変更するとともに、従来「その他」に含めていた「太陽光発電事業」について、セグメントとして識別する意義が乏しくなったため、「液卵事業」及び「調味料事業」に分割して計上する変更を行っております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

2024年7月31日付でHORIZON FARMS株式会社の全株を取得いたしました。これにより、「オーガニックEC事業」セグメントにおいて、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの発生額は、503百万円であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	334百万円	353百万円
のれんの償却額	—	31百万円

(収益認識関係)

1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	液卵事業	調味料事業	オーガニックEC事業	
液卵	14,285	—	—	14,285
凍結卵	3,275	—	—	3,275
卵加工品	747	—	—	747
その他鶏卵関連	262	—	—	262
調味料	—	914	—	914
オーガニック商品	—	—	—	—
その他	19	0	—	19
顧客との契約から生じる収益	18,591	915	—	19,506
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	18,591	915	—	19,506

当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	液卵事業	調味料事業	オーガニック EC事業	
液卵	12,454	—	—	12,454
凍結卵	3,419	—	—	3,419
卵加工品	967	—	—	967
その他鶏卵関連	179	—	—	179
調味料	—	925	—	925
オーガニック商品	—	—	430	430
その他	17	0	—	18
顧客との契約から生じる収益	17,037	926	430	18,394
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	17,037	926	430	18,394

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

2024年7月にHORIZON FARMS株式会社の株式を取得したことに伴い、中間連結会計期間より当社グループ内の業績管理区分を一部見直し、報告セグメントを従来の「液卵関連事業」、「調味料関連事業」及び「その他」から、「液卵事業」、「調味料事業」及び「オーガニックEC事業」に変更するとともに、従来「その他」に含めていた「太陽光発電事業」について、セグメントとして識別する意義が乏しくなったため、「液卵事業」及び「調味料事業」に分割して計上する変更を行っております。

なお、前第3四半期連結累計期間の顧客との契約から生じる収益を分解した情報については、変更後のセグメント区分により作成したものを記載しています。